

令和4年度第14回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和5年2月22日(水) 午後3時00分～午後4時53分
2. 会場 教育委員会会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章
委員 加 藤 洋 之 合宿の里・スポーツ推進課長
委員 多 田 千 鶴 坂 本 英 樹
社会教育課長 武 山 鉄 也
- 欠席 山 田 敦 久 委員

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

1 教育長挨拶

本日は、開催時刻を急遽変更させていただいた。第1回定例会の初日は、新年度の市政執行方針と教育行政執行方針のほかに、予算関係の議題もあったため、時間の設定に無理が生じてしまい、変更に至ったが、ご了解いただきたい。教育行政執行方針の内容には、これまで委員の皆さんからご意見をいただいていた「ネットリテラシー」のことや「部活動の地域移行」に関することなどの内容も盛り込んでいるが、予め相談ができなかったことについてはご理解いただきたい。

この後、校長の人事についての案件があるが、昨年度までは、もう少し遅い日程で内示されていたところ。校長の引継ぎ等の時間確保や引越しの手配なども早めの手配が必要となっているため、一般教員などよりも少し早くなった。

昨日は、多寄小学校で「こども夢トーク」を開催した。地元への想いがしっかりと語られ、とても良い内容だった。

今年度の「農業学習成果展」をいぶき地階のギャラリーで開催している。3月8日まで展示しているので、ぜひご覧いただきたい。

本日もよろしく願います。

2 議事について

○中峰教育長 進行

はじめに議案第41号 「令和5年度士別市学校教職員(校長)の人事異動」について説明する。

午後3時13分 秘密会を宣する。

午後3時26分 秘密会を解く。

○中峰教育長

議案第38号 「令和5年度教育行政執行方針」について説明を求める。

○須藤課長

別紙資料を基に、各課長から説明する。学校教育では、新型コロナウイルスに関する対応やICT教育の推進、教職員研修の充実、部活動の地域移行などの課題に取り組みながら、引続き「個別最適な学び」

と「協働的な学び」の推進に努めていく。

○武山課長

社会教育では、一人ひとりの自発的な学びや学び直しといわれるリカレント教育を通じ、生涯学習の推進に努めていく。さらに「土曜子ども文化村事業」の内容を見直し、子どもたちが参加しやすいものとするほか、名称についても変更を検討する。また、高齢者の学びの場である「九十九大学」は、新年度をもって最後となるため、今後は「学び舎つくも」の内容の充実を図っていく。

○中峰教育長

博物館においては、本年度実施した巡回展に続き2年連続となるが、巡回展の通算90回目を記念する「土別展」を開催する。

○坂本課長

スポーツ関係では、いよいよ今年開催されるインターハイが良い大会になるよう準備を進めているほか、オリンピックデーランについては、これまでと違う独自の形で開催する。チャレンジデーについても本来の目的に立ち返り、市民皆スポーツの増進を図るための内容とすべく、実行委員会で検討しているところである。また、「青少年運動能力向上事業」として「バルシューレ」の実施に対する補助を行うが、部活動改革の取組にも参考となるものと考えている。ディスタンスチャレンジについては、より多くの参加が可能となるよう、主催者である日本陸連と資格の要件について協議していく考えである。合宿については、市民による「スポーツ合宿サポート隊」が新たに発足する見通しであり、「市民総意の合宿推進」をめざし、本年4月の設立に向けて準備が進められている。

○中峰教育長

「スポーツ合宿サポート隊」の年会費については、個人登録の場合1,000円、法人登録の場合3,000円と聞いている。

○武山課長

文化芸術活動については、各団体の動きが少しずつ出ていると認識している。コミュニティスクールに関しては、取組開始から5年目を迎えたが、コロナ禍もあり少し停滞している。各地区の成果や課題について全体で共有するなど情報提供に努めていく。

○中峰教育長

全ての内容を説明する時間がないので、後ほどご一読いただきたい。「人づくり」についてはSDGsの発想であり、総合計画にも「地域力」を取り入れているほか、「人間力」についてはsociety5.0時代になればなるほど必要となると考えている。新年度に入った後に、「教育の重点」を定め、具体的に推進していくことになる。

○加藤委員

ネットリテラシーや文化村については、以前からの課題である。スポーツに関しては、なぜ土別でウエイトリフティングが盛んなのかを伝えていくとよいと思う。新たな選手が出てくれればとの思いもある。吹奏楽については、部員の減少もあり、学校間でアンバランスな状況にあるが、商業施設で演奏会を行うなど積極的に活動もされている。やっとなアフターコロナといえる状況に近づいてきたように思うが、学校については感染症の状況次第だとも思う。

○中峰教育長

サンライズホールで開催される「芝居で遊ばしよ」の記事の中で、芝居への参加が大きな刺激を与えていることが紹介されていた。「学校と子どもと芝居」に参加していた子どもが、学校で発表を行う

場面を見る機会があったが、特に表現力が高く、感心した。南中学校の吹奏楽部員は一年生3人だけとなり、このままだとコンクールにはアンサンブルでしか出場できない。合同部活動や地域移行も含め、環境づくりについて考えていかなければならない。

○多田委員

アフターコロナというよりは、まだウィズコロナの段階ではないかとも思う。「すぐにマスクを外すことには抵抗がある」との話も聞く。大人からの働きかけが必要と感じる。

○中峰教育長

「マスクの着脱を強いることがないよう配慮すべき」といってはいるが、お互いの立場に理解が必要であり、配慮することが必要である。校長会との協議では「やり方は変えないが、マスクを外してもいいタイミングが多くなった」と解釈することとしている。また、君が代や校歌の斉唱時にはマスクを着用するとの取り扱いとなっているなか、南中では学級ごとに合唱を発表する予定である。

○馬場職務代理者

「スポーツ合宿サポート隊」の活動内容はどのようなものか。

○坂本課長

主に環境美化活動としてロードの草取りなどである。

○中峰教育長

走っている選手に応援の声掛けをしても構わないということも、市民の皆さんは広く理解されていないので、そうした理解を広げる活動も期待している。

○馬場職務代理者

サポート隊だとわかる揃いのTシャツなどがあるとPRになるのではないか。

○中峰教育長

以前、試験場を立地した企業からいただいたベストなどがあり、保管されていれば、それらを活用することも考えられる。たすきやキャップなども良いのかもしれない。

○加藤委員

デジタル教科書は、どの程度導入されているのか。

○須藤課長

各学校でデジタル教科書の実証事業に申し込んでいるところである。今年度は中学生と小学校高学年の全員で英語のデジタル教科書を使用しているほか、学校によってはそれ以外の教科についても申し込んでいるが、学校数の調整があり、実施できない場合もある。令和5年度の実証事業についても申請しているが、まだ結果の通知は来ていない。

○加藤委員

子どもの頃は、教科書にアンダーラインを引いたり、付箋をつけることが普通だった。今、デジタルでどのように使用しているのか想像がつかない。

○馬場職務代理者

ICT 端末の活用について、一般的に目が疲れるとの声も聞いている。大きいモニターに映し出すなどの対応も、さらに進めるべきと思う。

○中峰教育長

士別市消費者教育支援セミナーで講師を務めた札幌市立発寒南小の朝倉教頭に、子どもたちの視力への影響について質問したところ、「あまり気にならない」との回答であった。しかし、目を休める必要

性などから、オンライン学習は2時間程度とすべきともいわれている。委員の皆さんにも、子どもたちが実際に使用している場面を見てもらうことも必要と考えるところであり、今後、視察する機会も検討していきたい。

○加藤委員

以前、教育委員の視察で行った台湾でも、積極的に活用されていた。将来的にデジタルがあたりまえになるのかもしれないが、紙には紙の良さもあると思っている。

○中峰教育長

紙をめくる感覚は独特のものである。端末をひんばんに持ち帰るようになるようであれば、同時に重いカバンの問題も解消しなければならない。両方のいいところ取りをしながら、道具の一つとして活用したい。

※日程の都合により、先に「3 その他」の説明を行う

3 その他

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

○中峰教育長

議案第39号 「令和5年度士別市教育委員会予算」について説明を求める。

○三上部長

別紙資料に基づき、新規事業、拡大事業について説明する。

(各課長から説明)

○中峰教育長

教育委員会事務局施設整備事業には、水道管やトイレの改修も盛り込んでいたが、残念ながら新年度予算には盛り込まれなかった。

○加藤委員

農業者トレーニングセンターのアリーナ床張替えについて、シート貼り（タラフレックス）にすると競技によっては、使いづらくなるというような影響が出るのではないかと。ミニバレーの場合、床が滑らないので怪我しやすいとの話も聞いている。

○坂本課長

各競技団体には地域教育課から聞き取りを行っている。一般的に、すべてのスポーツにおいて、大きな問題はないと認識している。

○中峰教育長

農業者トレセンでは、車いすバスケットを行うことが可能だったが、今後はどうなるのかも考える必要がある。汗をかいた時には、着ている服の素材によっても滑らないことでの弊害がないかも考えておく必要がある。

○加藤委員

テニスの場合、コート材質によってシューズやボールの動きが変わるので、そうしたことも気になる。

○中峰教育長

学校の体制について、上士別中学校では生徒数の減少によって数年後に教頭が配置されなくなる可能性が高い。特認校の問い合わせもあるようだが、生徒1人の増減でも体制が大きく変わる場合がある。

学校事務職員も配置されなくなるため、市の単費で任用することが必要。新年度から任用する各職場での会計年度任用職員について、少しでも気付いてもらえるように、教育委員会全体でまとめて新聞の募集広告を出したところ。業務技師も募集しているが、雇用条件がもっと改善されなければ応募が見込めないのではないかと感じている。まだ先ではあるが南郷プールでも人が確保できない厳しい状況であるため、働いていただける方の情報があればお知らせいただきたい。

○中峰教育長

議案第40号 「令和4年度士別市教育委員会補正予算」について説明を求める。

○三上部長

定例会最終日に提案されるものであり、事業の追加によるもののほか、入札等の執行残を減額するものも含まれている。

○須藤課長

感染症流行下における学校教育活動体制整備事業は、これまでも実施してきた新型コロナウイルスに対応するための補助制度によるものであり、さらに地方創生臨時交付金が充当されるため、市の持ち出しなしで執行可能となっている。なお、事業費については全額を令和5年度に繰越すものである。学校ごとの配分額は、小中学校は1校あたり90万円で、東高校は180万円となっている。

○中峰教育長

減額補正については、科目ごとに100万円以上の残が出るものが対象となる。

午後4時53分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章